

バアバちゃんの子育て考

NO. 8

吉田緑こども園
理事 長谷川智子

秋来ぬと目には清やかに見えねども
風の音にぞ驚かされぬ

10月の運動会素晴らしかったです。

〈子どもたちの走る姿、太鼓をたたいている姿〉目がキラキラ輝いていました。子どもたちの年齢毎の成長を大いに感じとりました。バアバも元気と希望をもらいました。

愛あふれるまなざしで、子ども達は心も大きく育って行きます。出来る事がどんどん増えています。(出来ない事が増えていくバアバちゃんにしては羨ましい限りです。バアバはどこかでストップをかけて、自分に今やれる事と思っています。) 肩ひじをはらず優しい光を放って行く事を念願に！

楽しいと思ふは これ楽しいもとなり . . . 松平定信

子ども達が“おはよう”と声を掛けてくれるだけで幸せを感じます。こんな毎日が送れる事は楽しい事です。

ご家庭でも朝「おはよう」「おはよう」と声を掛け合う事で楽しくなります。みんなが同じ事ができる事が立派な人間を育てる事ではないと思います。ひとりひとりの子どもが希望を持って生きていけるように支えて温かい眼差しを向けてやりたいと思います。

「私がこれまで生きられたのは家族の温かさがあり、私が接して来たたくさんの人の支えがあったから」とつくづく思うこの頃です。感謝あるのみです。

先日教え子が私の家に集いました。教え子と言っても66歳のおじいちゃん、おばあちゃんです。昔話に花が咲き、孫自慢も充分にして、満足して帰って行きました。その時この子達もいろいろ経験をし、つらい目にもあったのだろうに『友達がいるって幸せ、家族がいると幸せ、苦労もあるけど幸せ』と口々に言っていました。

“いま”を大切にしていれば昔話を笑って話せます。失敗してもいいのです。修正はいくらでも心の持ちよう、出来るのですから。

常に保護者が付き添って 子どもの安全を守りましょう

不審者による犯罪や、事故、けがから子どもを守るためには、子どもだけで行動させないことが大切です。「少しの間だから」「すぐ近くだから」「いつも行く場所だから」と油断せず、外出時には必ず保護者が付き添い、子どもから目を離さないようにしましょう。

こどもだけで いかずにならず おうちのおとなの ひとといこうね



おかいものを するとき



こうえんや おみせの トイレ



ちゅうしゃじょう



エスカレーターに のるとき



こどもだけで いくと
こわいことが おきたり
じこや けがを したりして
しまうかも しれないよ

外出先では、保護者の方は、お子様から目と手を離さないようにしましょう。

